

# 一子育て、子どもにやさしいつくば市に一

子育て世代が増えているつくば市。保育所・学童保育所は、ママ・パパが安心して働き、子育てするうえで欠かせない社会資源です。安心して子育てできる街を市民の声でつくりましょう。

日本共産党の市民アンケートに寄せられた「市政にのぞむこと」を年代別で見ると、30～40代の要望トップは「子育て支援拡充」61.8%、10～20代でも65.2%です。

\*市民アンケート 「市政にのぞむこと」の結果

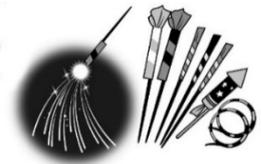
	10～20代	30～40代
1位	公共料金引き下げ 69.6%	子育て支援拡充 61.8%
2位	子育て支援拡充 65.2%	公共料金引き下げ 54.2%
3位	国保・介護医療の 負担軽減 39.1%	教育環境の充実 38.7%



## 日本共産党議員団が市民の願いを届け、市民とともに実現！

❖公私格差是正の運動を関係者と進め、民間保育士1人月3万円の直接補助を実現。栄養士や看護師、事務・調理など保育所に働くすべての職員の賃金大幅アップを。

❖「つくば保育の質ガイドライン」策定。東京世田谷区などの先進例を紹介し、2019年策定。子どもの権利を守り、最善の保育を心がけ、子どもに寄り添い発達過程に応じた保育や労働環境、安全管理、保護者支援など、つくば市の役割を明記。



❖つくば市になる前から求めて、一部市立幼稚園の3才児保育が実現。

❖市立保育所・1才児の保育体制を拡充、看護師配置も。ゼロ歳児・産休明け保育を他市に先駆けて実施。現場の声で、1歳児は保育士1人に乳児4人(国基準6人)とし、産休明けゼロ歳児保育を実施する保育所に看護師を独立して配置して子どもたちの発達に責任を持つ体制をつくりました。障がい児や医療的ケア児の保育体制を確立。障がい児を保育する民間保育所に補助を実現。❖子どもの国保均等割半額。

### ❖市立保育所の廃止計画に、待った！



耐震基準を満たしていないことを理由にした市立保育所8カ所の廃止計画に反対したのは共産党だけ。2千人の市民請願を市は受けとめず、次々と廃止。残る上横場保育所・高見原保育所・城山保育所の公立建て替えを求め市民とともに運動。

❖子どもの医療費18才まで助成。❖児童館や学校の普通教室・特別教室にエアコン設置。

❖TX沿線地域に学校5校建設。❖不登校児対策の強化、フリースクールへの補助拡充。

## 党市議団 2⇒3 議席で実現へ、ご支援を広げてください！



橋本けい子 山中まゆみ 佐藤せつ子

▼子育て支援3つのゼロ(学校給食費・子ども医療費窓口負担・0才～2才の保育料)▼学校給食の地産地消促進。▼県立高校の増設▼学校施設の老朽化対策▼学童保育の増設、公設公営・専用施設の設置。▼市水道料金の値上げ中止を。▼TXの通学定期代軽減。▼子どもの国保均等割ゼロ。